臼杵市観光推進体制のあり方を考える会の検討結果（まとめ）

臼杵市の新しい観光組織（案）

臼杵市観光推進体制のあり方を考える会

令和２年３月２日

新しい観光組織のイメージ図

令和2年3月2日

ステップ1

臼杵市観光情報協会

臼杵市観光の中心的組織へ

新しい観光組織 ＝法人化
「一般社団法人 ○○○○○○○」

観光情報一元化
観光窓口一元化
観光事業一元化
営業誘客活動の一元化
観光イベント一元管理
マーケティング
旅行商品開発（旅行業取得）
自主財源確保事業

- 臼杵市観光情報協会が実施する観光事業
- おもてなし観光課が実施する観光事業
- ＧＴと臼杵市観光を繋ぐ事業
- 吉四六の里観光協会が実施する事業（将来課題）

連携 ⇔ （株）まちづくり臼杵

連携 ⇔ 臼杵商工会議所

連携 ⇔ 野津町商工会

連携 ⇔ その他観光関連活動団体や事業者等

協働（支援）

観光戦略
環境整備
組織支援

おもてなし観光課

役割特化

うすきツーリズム活性化協議会

事業統合、発展的解散

参画

吉四六の里観光協会

市民生活推進課

事業統合は将来課題、組織継続

ステップ2　DMOへステップアップを

新しい組織（一般社団法人〇〇〇〇〇〇〇）を担うのは・・・・

①構成員は

・臼杵市観光情報協会会員

・うすきツーリズム活性化協議会会員

・吉四六の里観光協会は組織として参画

・新たな会員、協力者の拡大

②執行部、役員は

・代表理事

・理事

③事務局体制は

・市職員業務援助

・プロパー職員の雇用

④プロデューサーは

公募

理想のプロデューサー像	
アイデアの多い人	色んな所に旅行している人
部下（人）を育てられる人	臼杵の事を熟知している人
情報アンテナの高い人	ビジネス感覚の優れた人
地域おこしに情熱をもった人	町づくり経験者、幅広い感覚で考えられる人
ユニークな発想の持ち主	メンタルがタフな人
行動力、実行力のある人	明るい人
何事も積極的な人	嫌われ役になれる人
たくさんの引き出しを持つ	物事の優先順位にぶれない人
たくさんの人を巻き込んでいく力のある人	覚悟をもって事にあたる人
心（想い）のある人	包容力のある人

⑤財源は

個人会費、団体会費、自主事業収入、受託事業収入、助成金（市ほか）

「新しい組織を担うのは・・・」に係るメンバー意見

令和２年２月３日　第５回臼杵市観光推進体制のあり方を考える会のグループワークから

◆構成員

・臼杵市観光情報協会会員
・うすきツーリズム活性化協議会会員
・吉四六の里観光協会は組織として参画
・新たな会員、協力者の拡大

【メンバー意見】
・同じ意志、思いを持った人達の集まり
・会費は必ずいる
・臼杵のためにと入ってくれる会員を集める
・農協、漁協なども含めるか
・臼杵の観光を盛り上げたい人を集める（観光に関係ない組織も）
・素案に出てきたような組織は最低限構成員に入るべき

◆執行部、役員

・代表理事
・理事

【メンバー意見】
・思いの強い人
・敏腕経営者
・執行部、役員にはいろいろな性別、年齢、職種などの人が入らないといけない
・代表理事は、市長or副市長
・なりたい人（手上げ方式）
・各組織の代表＋定員の中の残りで構成員の中から

「新しい組織を担うのは・・・」に係るメンバー意見

◆事務局職員

・市職員業務援助
・プロパー職員の雇用

【メンバー意見】
・収益構造をつくっていける人
・自立できる組織にもっていける人
・事務局には市の業務援助が必要（特にソフト部分）
・一番大事！
・旅行業の資格をもつ人が中に
・現状の協会の人数より増やす

◆プロデューサー

・公募

【メンバー意見】
・行政の方でなく民間の人で特化した団体に
・自分たちで稼げる組織を
・先にプロデューサーを決めないといけないのでは
・プロデューサーがやりたいことをする（できる）体制に
・お金の問題（金額）が大切
・年代は幅広く募集

◆財源は

・個人会費、団体会費
・自主事業収入
・受託事業収入
・助成金（市ほか）

【メンバー意見】
・財源確保できるものを作っていく（何もないところからでも）
・観光に来てもらうだけでなく、お金を使ってもらえるしくみを
・他の補助金をうまく引っ張って来て事業を立ち上げ
・法人化したところで勝手に収益があがるわけではない
・まちの人たちが潤えば新組織はそこまでもうからなくてもよいのでは
・地元にお金がおちるのが大事

臼杵市観光推進体制のあり方を考える会の検討結果（まとめ）

本会が6回のワークショップを重ねメンバー意見を集約した結果、臼杵市がめざす観光推進体制は、新しい観光組織のイメージ図（案）のとおり、臼杵市観光情報協会が行う観光事業に、市おもてなし観光課及びうすきツーリズム活性化協議会が行う観光事業を整理統合（一元化）して運営する「一般社団法人」を設立し、その法人組織に吉四六の里観光協会が参画するとともに、（株）まちづくり臼杵、臼杵商工会議所、野津町商工会の各組織及び市内で活動する観光関連事業者や団体等と連携を密にして、臼杵市観光の推進を図る体制が望ましい。

その組織の構成員、執行部役員、事務局体制及びその財源についてもメンバー意見を充分踏まえた体制とすべきである。

新組織の設立スケジュール(案)

1.新組織設立準備
　(1)定款(案)作成

一般社団法人の定款に必要とされている項目
- ①名称
- ②目的
- ③主たる事務所の所在地
- ④設立時社員の氏名又は名称及び住所　←(構成員)
- ⑤社員の資格の得喪に関する規定
- ⑥公告方法
- ⑦事業年度

「プロジェクトチーム」を立ち上げ
各項目等を検討

検討項目(例)
- 組織の名称(案)
- 組織の目的(案)
- 構成員の考え方(案)
- 会費の考え方(案)
- 理事、代表理事の選び方(案)
- 事業(案)
- 財源(案)
- その他

2.各既存組織の方針決定
　(1)定款(案)の承認　⇒　各既存組織の総会で組織決定
3.市の予算化(議会承認)
4.プロデューサー、事務局職員の配置
5.新組織の総会開催(定款の決定)
6.法的手続き
7.新組織の運営開始

新観光組織の定款項目等検討プロジェクトチーム（仮称）は・・・

1.目的
　新観光組織の具体的な目的や構成員並びに行うべき事業等の方針を検討するとともに、既存組織から新組織へ運営をスムーズに移行するために必要な準備すべき事項について整理することを目的とする。

2.メンバー選考
（1）チームメンバーの選考は、臼杵市観光推進体制のあり方を考える会のメンバーから手上げ方式による選考を基本とする。ただし他薦も可能とする。
（2）メンバーの数は9名以内とする。

3.期間
　チームの結成期間は、令和2年○月○日から令和2年○月○日までの期間とする。

4.会議日程等
　会議の回数、日時、協議内容はチームのメンバーで協議して決めるものとする。

5.事務局
　事務局はおもてなし観光課とする。

参考

「臼杵市観光推進体制のあり方を考える会」の経緯

１．会の目的等

臼杵市は、平成３０年３月に「第２次臼杵市観光振興戦略」を策定し、観光振興によるまちの活性化に努めていますが、その戦略に基づく事業推進を効果的・効率的に行っていくための官民の観光推進体制はどうあるべきか検討することとし、まず、観光事業に携わる関係者の皆さんが観光組織や体制についてあるべき姿はどのような認識であるのか意見を伺うため『臼杵市観光推進体制のあり方を考える会』を令和元年９月に立ち上げました。

２．会のメンバーの選任

観光関連各職種や団体等から推薦いただき、２６名のメンバーでスタートしました。

しかし、第３回目以降、この会の議論に多くの観光関係者の方に参加いただきたいと考え、随時メンバーを追加することができるとし、３６名のメンバーとなりました。

３．会の講師、座長の選任

愛媛大学法文学部人文社会学科　准教授　米田誠司氏　にお願いしました。

４．講演会の開催

９月１８日（水）　「今と今からの観光業のあり方、誰が何をすべきか
～観光推進のための行政と民間の役割分担とその推進体制は～」

【講演概要抜粋】

・以前は資源と人材があれば観光は成り立っていたが、観光の質が変わり、その地域の人々の暮らしや日常生活が関わってきた。
・観光に係わる人々の横の連携が大事だがそれが難しい。まわりに働きかけながらやっていくのがまちづくりの活動である。
・観光は二つの見方があり、お客の立場は「体験して楽しんで帰って生活を向上させるもの」、受け入れる市民は「観光は手段であって、地域で生きがいを持って生きていくための基盤となるもの」
・「観光まちづくり」が生まれ20～25年、主語は地域住民となり、地域の資源を活かして観光を手段とし、自分たちでいいまちをつくる、地域経済が自立したまちをつくること。
・めざすべきは「滞在」「短期移住」その地で何ができるか。魅力ある土地に行きたい、自分の生き方に合ったまちに行きたいと思う。
・暮らしと旅はかなり近づいている。
・湯布院の例、気仙沼、八戸、西阿波観光圏や瀬戸内海などのＤＭＯの観光組織や取り組みを紹介

５．会の日程・内容

・第１回目　１０月２１日（月）　ワークショップ　「臼杵市観光の目標、将来像、方向性」
　　参加メンバー：17名＋傍聴者参加希望者10名＝27名　　5班でグループワーク

・第２回目　１１月　７日（木）　ワークショップ　「実施したい事業・すべき事業」　「プロデューサー像」
　　参加メンバー：17名＋傍聴者参加希望者6名＝23名　　5班でグループワーク

・第３回目　１２月　９日（月）　ワークショップ　「理想の組織イメージは、組織の再編は必要か」
　　参加メンバー：23名（メンバー追加）　　4班でグループワーク

・第４回目　　１月１７日（金）　ワークショップ　「臼杵の理想の観光組織イメージは新たな組織？」
　　参加メンバー：24名　　4班でグループワーク

・第５回目　　２月　３日（月）　ワークショップ　「新組織のたたき台（素案）について、それを担うのは」
　　参加メンバー：23名　　4班でグループワーク

・第６回目　　３月　２日（月）　全体討議　「検討結果（案）について」
　　参加メンバー：29名

（時間、場所は、すべて19：00～臼杵庁舎会議室）